



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



Weekly Reports 2020-2021

2020-21年度 RI会長; ホルガー・クナー / 地区ガバナー; 高瀬 英夫
加古川ロータリークラブ会長; 城 貴博 / 幹事; 久後 勇人
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和2年7月28日(火) 晴 No. 4



▲2680地区ガバナー公式訪問



▲高瀬英夫ガバナー挨拶



▲城会長挨拶

会長の時間

会長 城 貴博

本日はガバナー公式訪問です。高瀬英夫ガバナー(西脇RC)、齋藤地区代表幹事、来住公式訪問幹事ようこそお越しくございました。本日はよろしくお願い致します。

例会に先立ちまして、別室にてガバナーとの会長・幹事懇談会が行われました。後半には神木パストガバナーにも同席していただき、和やかな雰囲気の中で会談を終えることができました。

この後、高瀬ガバナーにはRI及び地区の活動方針を詳しくお話しいたします。

さて、7月17日に加古川プロバスクラブの定時総会に久後幹事と出席して参りました。プロバスクラブについては皆さんよくご存じのことと思いますが、1966年にイギリスで誕生し世界に4,000以上のクラブがあります。

日本では1988年に上郡清流会プロバスクラブが最初に誕生し、加古川プロバスクラブは1993年に加古川ロータリークラブの40周年事業の一つとして誕生しました。今年で設立27年になります。ここ最近のプロバスクラブが抱えている問題点は会員増強です。現在の会員数は17名(休会3名含む)で、平均年齢は約80歳と高齢化も進んでいるようで大変だなと感じました。皆さんのお知り合いでどなたかいらっしゃいましたら、ご紹介いただけたらと思います。

ついに話題のGoToトラベルキャンペーンがスタートしました。色々と問題が解決されないままの見切り発車となりました。先週の4連休の23日に京都へ行ったのですが、高速道路もあちこち渋滞で道中大変混んでおりました。京都市内も結構な人出で、インバウンド前の賑わいに戻っているのではと感じました。コロナの感染症が増えている中、さらなる拡大につながるのかなと心配しました。皆さんも十分気を付けてお出かけいただきたいと思います。

幹事報告

- 1) 地区より、ロータリーカード入会についてのお知らせ、日本のロータリー100周年記念切手発行のお知らせを回覧します。ご興味がおありの方は事務局までお知らせ下さい。
また、MY ロータリーの登録について、目標70%まであと少しとなっております。まだ登録されていない会員はご登録をお願い致します。
- 2) 明後日30日(木)は納涼例会です。午後6時～、加古川プラザホテル2階鹿児島の間で開催されます。御出席の会員の皆様よろしくお願ひ致します。30日(木)の例会変更日は8月11日(火)です。

ニコニコ



- 省 略 ☺ 多額のニコニコをいただきました。
- 省 略 ☺ 高瀬G公式訪問ご苦労さまです。
- 省 略 ☺ 高瀬ガバナー、齋藤代表幹事、来住公式訪問幹事、ようこそお越し下さいました。
- 省 略 ☺ 高瀬ガバナー、齋藤代表幹事、来住公式訪問幹事、ようこそお越し下さいました。
- 省 略 ☺ 高瀬ガバナー、随行の齋藤様、来住様ようこそ加古川RCへ。
- 省 略 ☺ 高瀬ガバナーをお迎えして。
- 省 略 ☺ 高瀬ガバナー、ようこそ加古川RCへ。本日よろしくお願ひいたします。
- 省 略 ☺ 高瀬英夫2680地区ガバナー及び随行員の皆様をお迎えした喜び。
- 省 略 ☺ 高瀬ガバナー、齋藤様、来住様、ようこそ加古川RCへ。来住さんいつもお世話になっております。
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上10件 ¥25,000-
本年度累計¥218,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 74 名 出席 49 名 出席免除 14 名 欠席 11 名
- ☆ 欠 席 者 省略
- ☆ 前 々 週 会員数 74 名 出席 51 名 出席免除 11 名 欠席 12 名
- ☆ ビ ジ タ ー RI 第 2680 地区ガバナー 高瀬 英夫氏(西脇RC)
随行者 地区代表幹事 齋藤 太紀雄氏(西脇RC)
地区公式訪問幹事 来住 周亮氏(西脇RC)
- ☆ メークアップ 加古川平成RC 7/22 桑田圭、高田、山本

森隆志ガバナー補佐他クラブ訪問実施日

- | | | | |
|----------|---------|-----|-------|
| 7月 1日(水) | 加古川平成RC | 随行者 | 河合会員 |
| 7月 8日(水) | 高砂青松RC | 随行者 | 藤本光会員 |
| 7月16日(木) | 加古川中央RC | 随行者 | 河合会員 |
| 7月17日(金) | 高砂RC | 随行者 | 河合会員 |

親睦活動委員会

例会場当番

7月30日(木) 神木、橋本真

8月 4日(火) 畑、長谷川昌



プログラム委員会

本日7月28日(火)	7月30日(木)	8月4日(火)	8月11日(火)
ガバナー公式訪問	例会変更 納涼例会 (8月11日の例会変更) 午後6時～ 於;加古川プラザホテル2階	卓話 「麒麟がくる」かも? 水川 担当	例会変更 7月30日(木) 納涼例会

ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2680 地区

2020-21 年度ガバナー 高瀬 英夫

加古川ロータリークラブの皆様こんにちは！

今年度ガバナーを務めます高瀬英夫(西脇ロータリークラブ)でございます。

西脇ロータリークラブは、貴クラブをスポンサークラブとして1963年にスタート致しました。親クラブとして、温かくも厳しくご指導ご支援頂きますようよろしくお願い申し上げます。

ガバナーの役割は、RIから派遣された役員として、クナーク会長のテーマを伝え、ロータリーの魅力と感動を伝え、クラブが発展するよう勇気づけ、元気にする事と考えております。

クナーク会長のテーマは、

【ROTARY OPENS OPPORTUNITIUES】ーロータリーは機会の扉を開くーです。

詳細につきましては、MY ROTARY をご覧ください。また4つの優先事項別の要約を地区のホームページに掲載していますので、ご参照ください。これらをベースにしたクラブ会長・幹事様への下記依頼・推奨事項をよろしくお願い致します。

- ・ロータリー賞を目指す
- ・会員維持・増強
- ・ビジョン、戦略計画の作成
- ・ポリオ根絶、ロータリーカードの普及
- ・定款細則の見直し確認
- ・職業奉仕・職業倫理の研修の充実
- ・危機管理委員会の設立
- ・他クラブへの訪問
- ・なぜロータリアンであり続けるのかの自問
- ・オンラインミーティングの普及

また本日お話ししました、今年度の地区スローガン「ロータリーの魅力を語り、伝えよう」については、地区のホームページ、ガバナーメッセージをご覧ください。

各クラブの魅力を他クラブへ伝達し、ともに成長できる機会にしたいと考えています。

皆様でお互いの魅力を語り合って頂くきっかけ作りに、「ロータリーからあなたへ」を配布致します。

クナーク会長のテーマ、地区のスローガンをよりよく理解して頂くために、国際協議会に参加した者として参考意見を述べさせていただきます。

① OPPORTUNITIES と CHANCE の違い

英語では、CHANCE は偶然性が高い意味合いが含まれるのに対し、OPPORTUNITIES は自らが主体性をもって作り出す機会であり、この違いを理解し、世界のロータリアンと認識を共有いたしましょう。

② 分科会で、会員の皆様さんから以下の質問についての意見交換がありました。

- ・「RI ビジョン声明、4つの優先事項はロータリーを間違った方向に導いているのではないか？」
- ・「ロータリーは人道的奉仕団体に変質したのか？」

私見として、RI は世界情勢を俯瞰しつつ最大公約数的指針を出す立場にあり、時代の流れを意識し、外形は適宜変化するが、ロータリーの本質である原理・理念（ロータリー目的、奉仕の理念、中核的価値観、モットー、寛容の精神、人づくりの使命、世界平和の希求）は何ら変わっていない。RI の動向（人道的奉仕活動の協調）は変質ではなく、時代の流れに呼応した多様性と捉え、不易流行を肝に銘じ、我が地区のロータリーの心と原点を求め続ける事が肝要と考えます。

参考資料として、ラジェンドラサバー（元 RI 会長）1991～92インド出身

2009年国際協議会講演より、「職業奉仕：忘れ去られた部門」よりの抜粋を下記します。

<職業奉仕を取り去れば、ロータリーは単なる地域の奉仕団体になってしまう。

又職業奉仕から倫理を取り去れば、完全にその意義が失われてしまう。

世の中には人道的な活動に取り組んでいる NGO が数え切れない程あり倫理や価値観を信奉する団体に事欠きません。しかし、職業を基礎とした倫理と人道的な奉仕を車の両輪として同等に重要視している団体は稀です。この稀な団体がロータリーです。

精神的な指導者であるスワミジ氏にこう聞いたことがあります。

「時として自分の仕事を犠牲にしてまで、ロータリーのために時間を割き、任務を果たすことに、果たして意義があるのか」と。

「人間として成長できるなら、それは意義がある」がスワミジ氏の答えでした。>

最後に、コロナ禍の影響で、3月～6月ほぼすべてのロータリー活動が停止という苦渋の選択をせざるを得ませんでした。FACE TO FACE を大切にしつつ、オンラインミーティングを加速させ、新しいロータリー活動の機会の扉を開きましょう。

クナーク会長は、「課題の中に機会つけ出すのがロータリアンです」とのメッセージが届いています。出来ない事を嘆くのではなく、今できる事、すべき事をしっかりやり切り次の時代に備えましょう。

貴クラブの益々のご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍をお祈りしています。